

vol. 2253

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】佐伯印刷(株) 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 第113回定期大会オルグ 5/28～6/18
- 高生協第61回通常総代会 6/12
- 新組合員学習会 6/20
- ボランティア登録案内
- 連合大分災害ボランティア・高教組組合員床下浸水自宅での土嚢作りボランティア報告

第113回定期大会オルグ 5/28～6/18

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため支部開催となりましたが、今年度は各分会に感染対策をお願いしたうえで、すべての分会でオルグを開催することができました。通常勤務を終えた後の開催となる中、外出先や自宅から学校に戻っての参加など1時間程度でしたが有意義な時間になりました。なお、各分会から出された意見や質問等は担当執行委員が持ち帰った後、本部執行委員会で報告、議論し各分会の課題を共有しました。

高生協第61回通常総代会

6月12日(土) 10時～・高生協第1回理事会11時～

本年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、規模を縮小して開催しました。議長に上野英俊さん(大分東高校)を選出し、議事を進行しました。まず大野真二理事長からあいさつがあり、提案は三重野修次専務理事が行いました。

すべての議案が満場一致で承認されました。

第1回生協委員会は中止となりましたが、各学校の生協委員を通じて、組合員の積極的なとりくみをお願いします。



新組合員学習会 6月20日(日) 教育会館101研修室

新組合員を対象に、学習会を開催しました。協力組合員を含む、7名が参加しました。

仁木書記次長が、労働組合の意義や大分高教組のとりくみについて説明をした後、意見交換を行いました。

短い時間ではありましたが、労働組合について理解を深めるとともに、各学校の課題についても共通理解を図ることができました。

参加者感想

- 超勤で悩んでいる先生が他にもいることを知った。学校現場が働きやすい環境になることを願っています。
- 組合の位置づけ、現時点での問題点など、たくさんの声が挙がっていて参考になりました。こういった学習会があるのは助かります。
- よく「なんで組合に入ったん？」と聞かれますが、私の中でその質問に即答できないもどかしさを感じていました。現在の当たり前は当たり前ではないし、先輩方が交渉してくださった結果だということを肝に銘じて、組合員であることに誇りを持っていきたいと思いました。



高教組 災害ボランティア登録 は、お済ですか？



近年自然災害が多発しています。そこで、災害に迅速に対応するため、高教組の災害ボランティア登録を始めました。希望者は下記に必要事項を FAX またはメールするか、QR コードから Web で登録をお願いします。登録した人には、高教組独自ボランティアや日教組・連合等からの災害ボランティア要請がありましたら連絡します。是非、登録をお願いします。

＜これまで派遣したボランティアの内容＞

- ・豪雨災害時の家屋の泥出し、被災家屋の整理
- ・被災学校の引っ越し作業、図書整理作業
- ・被災地の教育支援ボランティア
(学校行事や授業の手伝い等)
- ・瓦礫の撤去、用水路の整備、床板外しての泥上げ
- ・漁協のお手伝い
- ・仮設住宅内環境整備 など

☆登録方法☆

- 1 次の内容を FAX またはメール、もしくは Web 入力をお願いします。
 - ①名前と分会名
 - ②連絡先 (携帯電話とメールアドレス)
 - ③その他 (伝えたいこと)
- 2 連絡先 (高教組)

電話：097-556-2838 FAX：0800-200-8997
メールアドレス：ohtwu@view.ocn.ne.jp

【QR コード】



連合大分災害ボランティア・ 高教組組合員床下浸水自宅での土嚢作りボランティア報告

【連合大分「2020年7月豪雨災害ボランティア派遣」(第1陣) 第12日目・九重町(ここのえまち)について】

最終日の2020年7月31日(金)は、58名の組合員がボランティア活動に参加しました。2020年7月18日(土)より展開した連合大分「第1陣ボランティア派遣」には、約540名の組合員が参加しました。ボランティア活動に取り組まれた皆さまに敬意を表します。

基幹労連5人 コープおおいた5人 高教組1人のグループで窪田は参加しました。

最初は玖珠よりの山際の民家の床上浸水の家での作業でした。泥が床下に入っていなかったため、畳上げだけでした。高齢夫婦の家でした。

次に宝泉寺のずっと上の方の庭に大量の土砂が流れ込んでいた場所で土嚢づくりをしました。最終的に30人での作業となりました。暑い中でしたが、予定の作業が完了しました。ここも高齢の方の住まいでした。災害が起こると、自力では対応できない方が多くいます。これからも自分にできることがあれば参加していこうと思いました。

2020年7月19日午後、床下浸水した高教組組合員の自宅で、土嚢づくりを手伝いました。

困ったときは、高教組本部にご相談ください。

